



歯の健診を受ける宇山明花ちゃん。

いきいき健口フェアでお口のケアを学ぶ

歯の衛生週間（6月4日～10日）に合わせて、県歯科医師会阿南市那賀郡支部主催のいきいき健口フェアが、6月5日、ひまわり会館で開催され、約450人の親子連れが、お口のケアについて学びました。

会場には、幼児を対象に歯の健診やフッ素洗口などを指導するコーナーや、成人向けの口腔がん検診や簡易歯周病検査を行うコーナーなどが設けられました。

3歳の時に「母と子のよい歯のコンクール（県歯科医師会主催）」で入賞した那賀川町の宇山明花ちゃん（5歳）は、「歯磨きをきちんとして、歯を大切にしたいです。」と話していました。

主催者で県歯科医師会阿南市那賀郡支部会長の岡本好史さんは、「フッ素塗布をしたから大丈夫と勘違いする人がいます。虫歯予防は、歯磨きやフッ素塗布に加え、フッ素洗口を行うことがより効果的です。また、歯周病は自覚症状が出ないまま進行します。特に、糖尿病患者は歯周病にかかりやすく、発症すると治りにくいことから、歯周病予防にも関心を持ってほしい。」と呼びかけていました。

阿南市議会 夏のエコスタイルを実施



6月議会から、議場におけるエコスタイルを導入しました。阿南市では第2次阿南市環境保全率先行動計画で、温室効果ガスの削減、省エネルギーによる地球温暖化防止、節電の励行などを推進しています。市議会議員は平成17年6月からすでに導入していますが、職員（特別職を含む）は初めてです。

徳島県消防協会長就任 おめでとうございます



阿南市消防団長 中川 正さん

阿南市消防団長の中川 正さんが、徳島県消防協会の会長に就任しました。徳島県消防協会とは、徳島県下27消防団で運営する消防協会の代表です。5月26日に、総会において満場一致で推薦され就任しました。阿南市では、43年ぶり2人目となります。

受け継ぐきれいで豊かな瀬戸の海

瀬戸内に広がる海岸線の清掃活動を行い、きれいで豊かな海づくりをしようと、リフレッシュ瀬戸内活動が、6月3日と18日に、北の脇海水浴場で行われました。

清掃活動は、近隣の幼稚園児や小学生、漁協関係者など約520人が参加して行われ、約2キロにもおよぶ砂浜を歩きながら、漂着した流木やプラスチックごみなどを拾い集めました。海が大好きで釣りや海水浴によく来るという富野柚月さん（見能林小6年）は、「全国の人に、このきれいな北の脇に遊びに来てほしい。リサイクルできる資源ごみも捨ててしまえばただのゴミになるので、捨てないでほしい。」と呼びかけていました。

この活動は7月にも行われます。



砂浜に漂着した木々などを拾う見能林小学校の児童の皆さん。

漫才・漫談・落語 真打ちによる珠玉の話芸を堪能

阿南市合併5周年を記念して、6月3日、文化会館夢ホールでNHKラジオ演芸番組「真打ち競演」の公開録音が行われ、抽選に当たった580人が珠玉の話芸を堪能しました。

真打ちとは、漫才や落語、漫談など、その道を極めた人のことをいいます。この日は2番組分の録音が行われ、6組8人の芸人が、色物（漫才やコント）、漫談、落語の順に話芸を披露しました。個性豊かな芸風に、阿南にちなんだネタをトークに交えるなど、身近でユーモアあふれるお笑い観客の心をつかんでいました。

公開録音を観覧するのは初めてという川口 礼さん（柳島町）は、「笑いに染まる会場の雰囲気も楽しめました。漫才や漫談では、たけのこやLEDといった阿南にちなんだ言葉も出てきて、親しみが持てました。」と話していました。

放送日時のお知らせ

■NHKラジオ第1（周波数945KHz）
7月2日（土）および9日（土）の午後8時5分～55分



ロープワークの基本を学ぶ羽ノ浦消防団員の皆さん。

消防団員など約140人が 水防技術を学ぶ

水防技術を学び伝承してもらおうと、国交省那賀川河川事務所による水防技術講習会が、6月5日、桑野川防災ステーション（富岡西高校西側）で行われ、消防団員や市内の建設業者10社など約140人が受講しました。

講習会では、四国防災エキスパートの山本邦一さんが、ロープワークや水防工法などを指導しました。ロープワークに挑戦した羽ノ浦分団長の三橋 正さん（羽ノ浦町）は、「普段はあまり使わない技術なので、まずは基本を学んで応用できるように、非常に備えたいです。」と話していました。

学力向上アクティブ・ワン・プロジェクトで学力向上を図る



企画書を手元にプレゼンテーションを行うようす。（5月11日）

昨年の全国学力学習状況調査では小学生ではおおむねよい結果が出たものの、中学生には課題があり、特に国語の活用能力の育成には小・中学校双方に課題があるとの結果が出ました。

この課題を解決し、さらなる学力向上をはかるために導入されたのが「学力向上アクティブ・ワン・プロジェクト」。本事業では、学校の積極性と独自性に主眼を置いており、希望校の企画提案により小学校3校・中学校2校を決定。その取組を検証したうえで市内の全ての小・中学校に成果の普及を図ることとしています。

今年度は、市内22小学校のうち5校、10中学校のうち2校から企画提案があり、審査の結果、次の学校の事業が採択されました。

【小学校】津乃峰小学校、宝田小学校、富岡小学校
【中学校】新野中学校、阿南第一中学校